

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

西会津町総合計画（第5次）推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福島県耶麻郡西会津町

3 地域再生計画の区域

福島県耶麻郡西会津町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、昭和25年の19,611人をピークに減少を続け、令和2年国勢調査結果では5,770人と、ピーク時のおよそ3割まで減少している。さらに住民基本台帳によると令和7年12月には、5,259人となっている。町の将来人口推計では令和22年には3,398人にまで減少することが予想されている。

年齢階層別人口をみると、令和2年で老年人口は2,719人（47.1%）、生産人口は2,583人（44.8%）、年少人口は468人（8.1%）で、令和22年にはそれぞれ1,819人（54.6%）、1,369人（40.3%）、210人（6.2%）になると推計している。

令和2年から令和6年までの直近5年間の人口動態をみると、自然動態では、出生数の年平均が21人に対して死亡者数の年平均が135人となっており、年平均114人の自然減となっている。また、社会動態は、年平均36人の社会減となっており、本町の人口は年平均150人程度減少を続けている。その要因は、出生数の減少をはじめ産業構造の変化による雇用機会の減少、10代から20代前半の若者の進学や就職を目的とした転出が多いことなどが挙げられる。

今後も人口減少・少子高齢化が進むことが予想され、あらゆる分野で深刻な担い手・後継者不足や地域経済規模の縮小、医療・介護などの社会的負担の増加、地域コミュニティにおける互助機能や活力の低下など、様々な弊害を引き起こすこととなる。

これらの課題に対応するため、結婚・出産対策や子育て・教育環境の充実を図り、

町民が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進め、自然増につなげる。また、産業振興による雇用機会の創出や移住・定住支援の強化により社会減の減少率を抑え、子どもから高齢者まで誰もが生きがいを持って地域で活躍し、町民一人ひとりが幸せな暮らしを実現できると感じられるまちづくりを目指す。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 共育の架け橋、明日へのまちづくり
- ・基本目標 2 地域資源を誇り・繋ぎ・育てるまちづくり
- ・基本目標 3 健康で生涯いきいきと暮らせる多様性のまちづくり
- ・基本目標 4 暮らしを守り、明日を彩るまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和11年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	出生数	21人 (令和2～6年平均)	25人 (令和7～10年平均)	基本目標 1
ア	子育て広場の 年間利用者延べ人数	1,000人	1,200人	基本目標 1
ア	伴走型支援訪問回数	35回	55回	基本目標 1
ア	自分には良いところがある (自尊心・自己肯定感)と感じている 割合	小6 93.1% 中3 85.1%	85%以上	基本目標 1
ア	分からないことや詳しく 知りたいことがあったときに、 自分で学び方を考え工夫すること ができている割合	小6 89.6% 中3 70.3%	85%以上	基本目標 1
ア	リーディングスキルテスト における能力値0以上の児童生徒の 割合	6分野7項目の割合の平均 小6：10% 中3：53%	6分野7項目の全てが 小6：30%以上 中3：60%以上	基本目標 1
ア	出前講座開催数	34回	36回	基本目標 1
ア	生涯学習発表会などの 参加団体数	12団体	12団体	基本目標 1
ア	中学校町民図書館 貸出冊数	18,752冊	18,900冊	基本目標 1

ア	西会津スポーツクラブ 会員数	62人	65人	基本目標1
ア	施設利用登録 スポーツ団体	13団体	14団体	基本目標1
ア	さゆり公園スポーツ 施設年間利用者数	40,379人	42,397人	基本目標1
ア	絵画、写真等の展覧会 を行った施設数	5施設	5施設	基本目標1
イ	農地の集積率	29.8%	34.7%	基本目標2
イ	ミネラル栽培野菜 販売額	92,500千円	101,000千円	基本目標2
イ	特用林産物 (菌床シイタケ)生産 量	143t	160t	基本目標2
イ	農業法人数	8社	9社	基本目標2
イ	事業所及び従業員数	294事業所 1,628人	282事業 1,563人	基本目標2
イ	年間販売額	4,130,940千円	3,965,700千円	基本目標2
イ	観光入込客数	718,954人	780,000人	基本目標2
イ	宿泊施設の宿泊者数	7,879人	8,700人	基本目標2
イ	西会津のある暮らし 相談室等を通じた 移住者数	116人 (R元～6 累計)	100人 (R8～11 累計)	基本目標2
ウ	健康寿命の延伸	男性：83.71歳 女性：87.25歳	男性：84.71歳 女性：88.25歳	基本目標3
ウ	生活に「いきがい」 「はりあい」がある	52.8%	57.8%	基本目標3
ウ	自分と地域のつながり が強いほうだと思う人	60.2%	65%	基本目標3
ウ	医療系学生の受入れ (研修・視察)人数	40人	45人	基本目標3
ウ	サロン数	44サロン	44サロン	基本目標3
ウ	認知症サポーター 養成人数(累計)	3,622人	3,800人	基本目標3
ウ	高齢者等あんしん 見守りネットワーク 協力事業所数	66事業所	70事業所	基本目標3
ウ	町の審議会などにおける 女性委員の割合(審 議会などの附属機関に おける女性委員/委員 総数)	28%	30%	基本目標3
ウ	活力ある地域づくり支 援事業の取り組み件数	1件	3件	基本目標3

ウ	各イベントでの人足ボランティア、大学・企業等の研修	269人	300人	基本目標3
エ	雪処理支援隊員数	11人	13人	基本目標4
エ	雪国まつり来場者数	3,600人	3,300人	基本目標4
エ	デマンドバス利用者数	12,300人 (R5実績)	11,900人	基本目標4
エ	定時定路線バス利用者数	7,000人 (R5実績)	6,800人	基本目標4
エ	町内循環線利用者数	6,700人 (R5実績)	6,500人	基本目標4
エ	水道加入率	90.4%	92.9%	基本目標4
エ	下水道水洗化率	71.2%	76.6%	基本目標4
エ	情報発信に使用するSNSの数	2	3	基本目標4
エ	町公式LINE登録者数	1,200人	1,500人	基本目標4
エ	オンラインで手続き可能な項目数	12項目	20項目	基本目標4
エ	人口に占める消防団員の割合	5.2%	6%	基本目標4
エ	年間火災件数	6件	0件	基本目標4
エ	自主防災組織数	18組織	22組織	基本目標4
エ	死亡事故ゼロの日数	566日	2,027日 (または1,000日)	基本目標4
エ	町全体の家庭ごみ年間排出量	1,146t (R5実績)	974t	基本目標4
エ	町民1人1日あたりの家庭ごみ排出量	571g (R5実績)	545g	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

西会津町総合計画（第5次）推進事業

- ア 共育の架け橋、明日へのまちづくり事業
- イ 地域資源を誇り・繋ぎ・育てるまちづくり事業
- ウ 健康で生涯いきいきと暮らせる多様性のまちづくり事業
- エ 暮らしを守り、明日を彩るまちづくり事業

② 事業の内容

- ア 共育の架け橋、明日へのまちづくり事業

地域が一体となった子育て支援体制の充実により、まち全体での協育環境づくりに努め、健康な体や豊かな心、確かな学力を育み、未来を拓く子ども達の教育を大事にする。主体的な生涯学習活動を支援し、町民一人ひとりの学びが共育につながる環境整備に努める。誰もがいつでも、身近にスポーツに親しめる環境を整備し、地域住民同士がつながりあうことを大切にする。地域の歴史を大切に継承しながら、新たな町の文化の創造を目指す。様々な教育が架け橋となって未来のひと・まちづくりを目指す。

【具体的な事業】

- ・各種子育て支援の充実 等
- ・ICTを効果的に活用した学校教育の充実や学校・家庭・地域の連携による支援活動 等
- ・各種教室や出前講座の開催、学校と連携した学びの場の創出 等
- ・スポーツ環境の整備や各種スポーツ団体の自主的な活動支援 等
- ・歴史・文化等の周知や歴史資料の保存・活用 等

イ 地域資源を誇り・繋ぎ・育てるまちづくり事業

先人たちが築き上げてきた農業・林業・伝統工芸・観光など、かけがえのない地域産業を単なる「仕事」としてではなく、地域の誇りとして受け止め、その価値を知り、伝え、次の世代に繋いでいくことを使命としている。

環境の変化や人口減少の時代にあっても、地域の知恵と技術、そして人の想いを大切にしながら、地域産業を守り育てる持続可能なまちづくりを、住民一人ひとりの手で進める。

【具体的な事業】

- ・担い手の確保・育成や農地・森林の有効利用、農林産物の産地化、有害鳥獣対策の強化 等
- ・町内産業の振興及び商店街等の活性化と事業承継・創業支援 等
- ・観光資源の磨き上げや友好交流市町村や企業・大学等との交流事業の強化拡大による交流人口・関係人口の拡大 等
- ・「町を知ってもらい 来てもらおう」施策に重点を置いた施策の継続、移住の入口から基盤づくり、移住後のフォローまで移住者が安心して暮らし続けられる環境づくり 等

ウ 健康で生涯いきいき暮らせる多様性のまちづくり事業

町民みんなが心身ともに健康で、生きがいを持ちながら安心して生活できる環境づくりを進め、世代や地域を超えた交流を促進し、互いに尊重し助け合える、つながりがある町を目指す。

【具体的な事業】

- ・「からだ」「こころ」「つながり」の健康による「さすけねえわ（輪）」の健康づくり 等
- ・医療人材の受入れ事業等、町民が安心できる地域医療体制の整備 等
- ・高齢者福祉の推進や高齢者の生きがい対策 等
- ・障がい者福祉の推進や地域の支援体制の充実 等
- ・集落の現状、将来の姿を地域住民と共有し、住民の想いに寄り添った、集落が望む形の集落支援 等

エ 暮らしを守り、明日を彩るまちづくり事業

人口減少や気候変動、高齢化の進行といった社会的課題に直面しながらも、町民が日々の暮らしに安心と誇りを持てるまちづくりを追求する。

特に、雪と共に生きる地域の特性を踏まえた雪対策、老朽化が進む生活・公共インフラの計画的な更新、進展するデジタル社会への対応、災害に強いまちづくり、そして豊かな自然環境の保全は、町の持続可能な未来を築くために不可欠であり、取り組みを進めることによって、明日をより良く（明るく）彩っていく。

【具体的な事業】

- ・雪処理支援隊派遣事業 等
- ・町民バスの安定かつ効率的な運行事業 等
- ・上下水道の適切な維持管理 等
- ・情報発信強化とデジタル変革の促進による地域課題解決、行政サービスの質の向上、移住・定住の促進 等
- ・消防防災組織の強化など、防火・防災・防犯・交通安全対策 等
- ・環境保全に関する啓発活動等、町の豊かな自然環境の保全 等

※なお、詳細は西会津町総合計画（第5次）のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

40,000千円（令和8年度から令和11年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

西会津町総合計画（第5次）の評価・検証に合わせ、外部有識者による効果検証を行う。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2030年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2030年3月31日まで